

平成30年度 一般入試① 問題 (社会)

 問題 次の文章をよく読み、あとの問いに答えなさい。

日本は海に囲まれた国で古くからさまざまな船が使われてきました。①貿易が盛んな現代では、石油を運ぶ大きなタンカーやコンテナ船などがありますが、それ以外にも日本には特徴的な船があります。ここでは②瀬戸内海で活躍した船の例を見てみましょう。

一つめの例が、広島県で活躍した図書館船です。1954年に日本図書館協会が行った③「図書館の自由に関する宣言」で、「すべての国民は、いつでもその必要とする資料を入手し利用する権利を有する」という理念が打ち出されたことなどを背景に、日本各地で④公共図書館の充実が目指されました。しかし、限られた⑤予算のなかで、人口の少ない町や村に一つ一つ図書館を設けることは実現しませんでした。そこで、広島県では自動車による移動図書館（巡回図書館）を設けるようになりました。ただし、瀬戸内地域の多数の小島へは自動車による移動図書館が巡回することはできず、1962年から船による移動図書館を運航することになりました。それが《写真》の「文化船 ひまわり」です。長さ14m、幅3.7mの船が約1500冊の本を積んで瀬戸内海の島々をまわり、島民に図書館の利用機会をもたらしました。「ひまわり」は図書の貸し出しだけでなく、音楽会や映画会、講演会などの⑥文化事業も行ったことから「文化船」とよばれ、島民に親しまれました。

その後1981年に「ひまわり」は老朽化などを理由に引退しました。当時、瀬戸内の島々には橋が多くかけられたこともあり、新たな図書館船が造られることなく⑦その機能は自動車による移動図書館に引き継がれました。その後、広島県立図書館では、県内すべての地域を自動車による移動図書館でまわることになります。

一方、現在でも瀬戸内地域の住民のために活躍している船が存在します。それが二つめの例である診療船です。瀬戸内海には大小約600の島々がありますが、すべての島に病院や診療所などの医療機関があるわけではありません。そうした状況をふまえて、1962年から瀬戸内地域では、⑧岡山県、広島県、愛媛県、香川県の4県のいくつかの病院がお金を出し合って「済生丸」という診療船が運航されています。済生丸は各県の病院の近くに寄港し、医師や看護師を乗せて、2～5日程度かけて瀬戸内の島々をまわることを繰り返します。現在では1年で64の島々をまわるそうです。

済生丸が誕生した高度経済成長期は、まだ橋がかかっていない島も多くあり、簡単に本州や四国の医療機関にかかることのできない住民もいました。そうした住民にとっては貴重な診療船であったのです。運航開始の翌年である1963年には、年間でのべ約1万人が済生丸を利用しました。ところが、早くも大きな課題にぶつかります。64もの島々をまわるとなると、同じ島には多くても年間で8回程度しか診察に行くことができません。そのため急病人などの対応だけでなく、病気になってしまった島民の治療を継続して行うのは不向きであったのです。また、時代が進むにつれて瀬戸内海ではいくつもの島々に橋がかけられました。すると、公共交通機関は不十分であるものの、自家用車を使えば1～2時間程度で本州や四国の都市部まで行けるようになりました。

しかし、済生丸の事業は廃止にはならず、今日も瀬戸内海の島々をまわっています。2014年には、4代目となる済生丸が、最新の機器を備えて就航しました。実は、済生丸の事業は、乗船する医師や航海を支える人々の給料や船の維持費などが高額となるため、何度も廃止が検討されてきました。⑨それでも瀬戸内地域の島民が必要としている現状から4代目の船が造られ、運航されています。現在、済生丸は島民にとってかけがいのないものなのです。

図書館船と診療船は、それぞれの時代に離島の住民が必要とするサービスを瀬戸内海で提供してきました。しかし、その時々島のくらしや特徴、交通条件といった社会の変化と各船が提供するサービスの内容によって、現在でも活躍している船もあれば引退した船もあるのです。特徴的な船が活躍している背景にはそれらを利用する人々の生活が見えてきます。

《写真》「文化船 ひまわり」

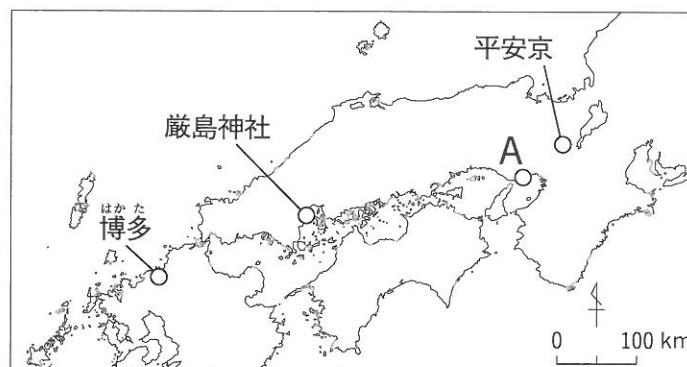


(広島県立図書館編『航跡：文化船ひまわり引退記念誌』より)

問1. 下線部①について、16世紀のなか中ごろから17世紀の初めごろまで、南蛮貿易を行うヨーロッパの船（南蛮船）がたくさん日本にやってきました。南蛮船が日本にもたらした、主な商品の名前を、2つ答えなさい。

問2. 下線部②について、瀬戸内海は古くから海難事故が多かった地域でした。平清盛は、瀬戸内海での航海の安全を祈って厳島神社を建てました。平清盛にとって瀬戸内海の航海がなぜ重要だったのか、《地図》のA地点の役割にふれて、50字以内で説明しなさい。

《地図》



問3. 下線部③について、次の文章は「図書館の自由に関する宣言」の一部を、わかりやすく書き直したものです。文章中の（ A ）にあてはまる言葉を、漢字2字で答えなさい。

国民にとって、さまざまな情報を「知る自由」は、文学や芸術作品、社会科学や自然科学の論文などを執筆・発表する人たちに対して、憲法上保障される「（ A ）の自由」と切り離すことができない権利です。国民にとって、こうしたさまざまな作品を発表する人たちの（ A ）活動についての「知る自由」があつてこそ、実はこうした作品を発表する人たちに保障される「（ A ）の自由」も成立しているのです。国民の「知る自由」とは、また、「思想・良心の自由」をはじめとしたあらゆる基本的人権と密接にかかわり、それらの保障を実現するための土台にもなっているわけです。

問4. 下線部④について、ユネスコでは、1994年に世界各国などに対して、公共図書館の発展を促す「ユネスコ公共図書館宣言」が採択されました。ユネスコの活動としてふさわしいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 紛争などで国を追われ難民となった人々の生活支援にあたっている。
- イ. 「子どもの権利条約」にもとづき、子どもの保健や栄養指導、教育を支援している。
- ウ. 各国政府や民間団体、ボランティアと協力し、政府開発援助（ODA）を行っている。
- エ. 世界各地に残る貴重な自然や文化を世界遺産に登録し、保護している。

問5. 下線部⑤について、市区町村の予算（財政支出の項目）に含まれていない費用を、次のア～オから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 福祉のための費用
- イ. 道路や公園の整備のための費用
- ウ. 教育のための費用
- エ. 警察や自衛隊のための費用
- オ. 防災や災害対策のための費用

問6. 下線部⑥について、日本における美術の歴史について述べた文として誤っているものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 平安時代に大和絵の技法が生まれ、貴族の生活を多彩な色使いでえがいた『源氏物語絵巻』がのこされている。
- イ. 室町時代に水墨画が盛んにえがかれ、自然の風景を墨の濃淡だけでえがいた雪舟の作品がのこされている。
- ウ. 江戸時代の浮世絵が鎖国以前に海外へ紹介され、絵の構図や色使いがオランダの画家ゴッホに影響をあたえた。
- エ. 明治時代になると西洋の油絵や彫刻が注目を集めたが、岡倉天心によって日本の伝統美術が再評価された。

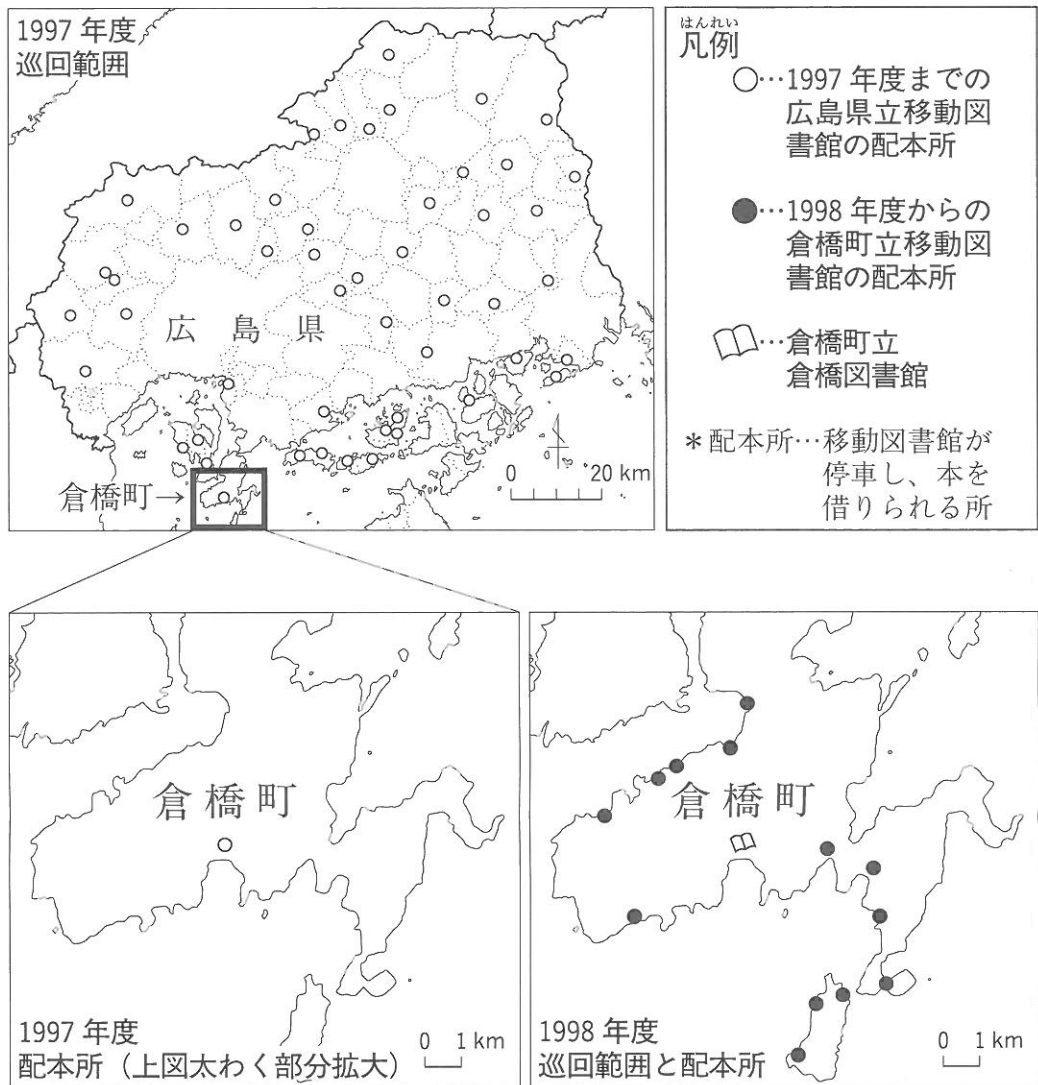
問7. 下線部⑦について、かつて図書館船が巡回していた広島県倉橋町^{くらはし}では、1998年に移動図書館のサービスが大きく改善されました。具体的な改善点とその理由を、本文と《資料1》・《資料2》・《資料3》を参考にして100字以内で答えなさい。そのさい、移動図書館のサービスが改善された理由にふれること。

《資料1》倉橋町における移動図書館のサービスの
変化

年	できごと
1962年	文化船ひまわりが倉橋町への巡回を開始
1980年	広島県立図書館による自動車の移動図書館が巡回開始
1997年	広島県立図書館による移動図書館の巡回終了
1998年	倉橋町立倉橋図書館による移動図書館の巡回開始

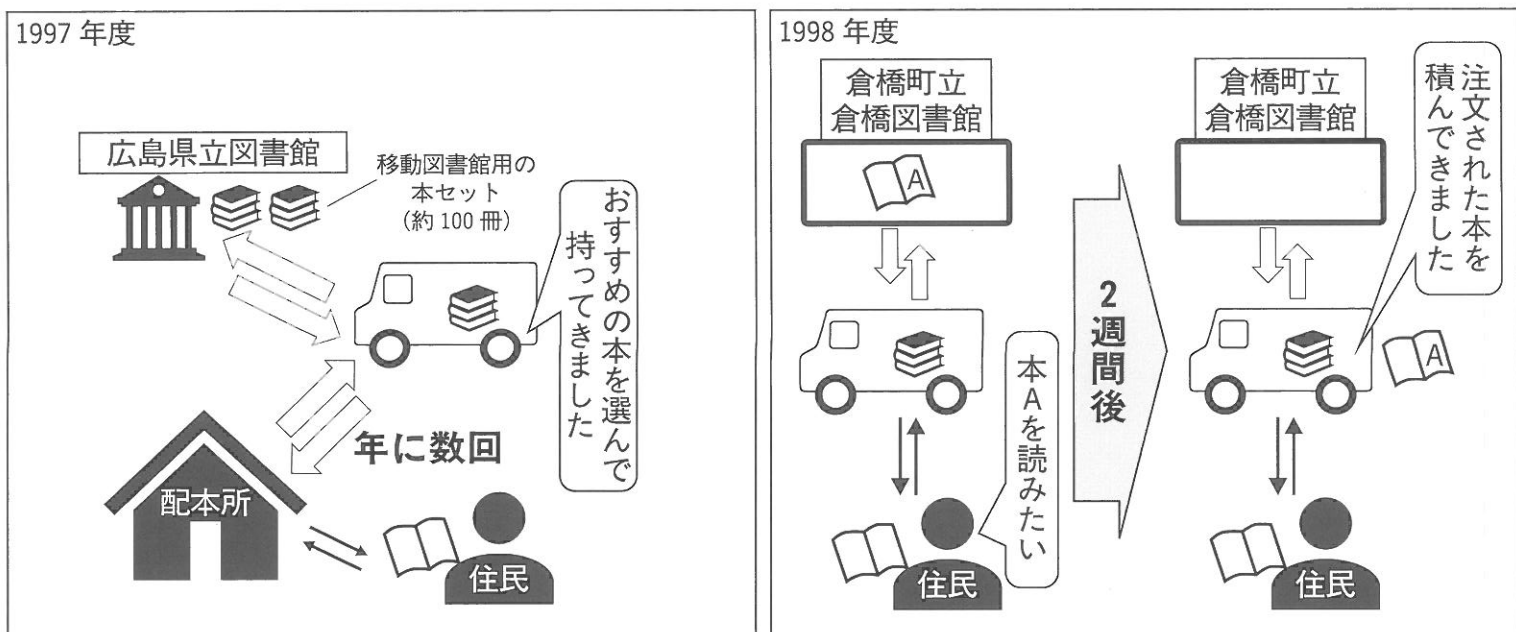
(広島県立図書館編『移動図書館実施計画表』・『航跡：文化船ひまわり引退記念誌』・『要覧平成9年度』により作成)

《資料2》倉橋町を巡回する移動図書館の範囲と配本所の変化



(広島県立図書館編『移動図書館実施計画表』・『要覧平成9年度』、呉市立倉橋図書館提供資料により作成)

《資料3》倉橋町での移動図書館のサービスの
変化

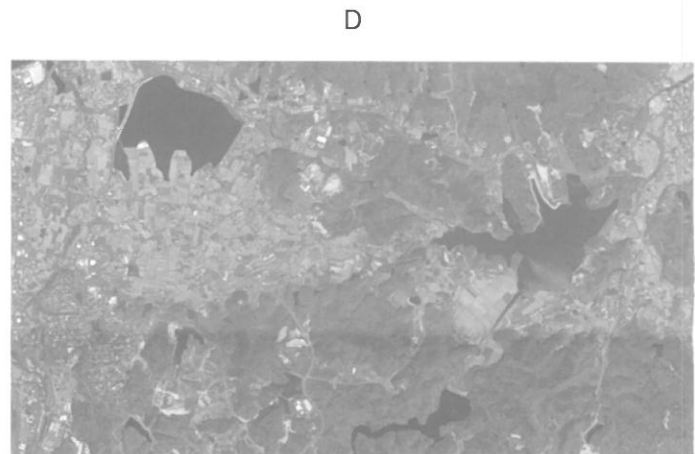
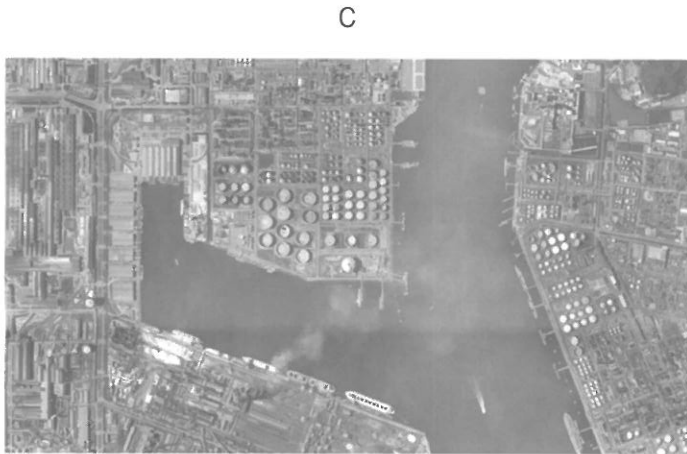
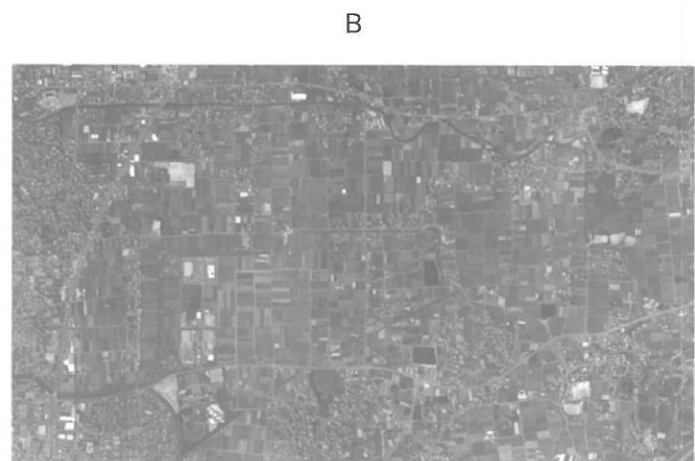
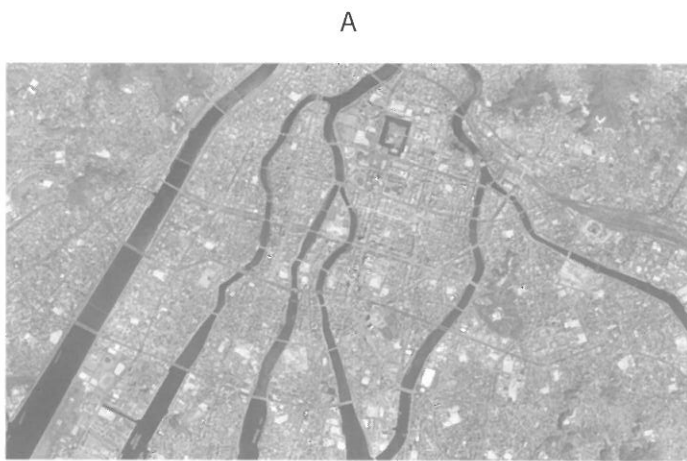


(呉市立倉橋図書館提供資料により作成)

※現在、倉橋町は合併により呉市となり、図書館も呉市立倉橋図書館となっています。

問8. 下線部⑧に関連して、次の問いに答えなさい。

- (1) 以下の写真A～Dは、岡山県、広島県、愛媛県、香川県のある地域の空中写真です。また、文章ア～エは、それらの地域に関するものです。岡山県にあてはまる写真をA～Dから、あてはまる文章をア～エから、それぞれ1つ選び、記号で答えなさい。



(2007年以降に撮影された「地理院タイル」を一部加工)
(<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)

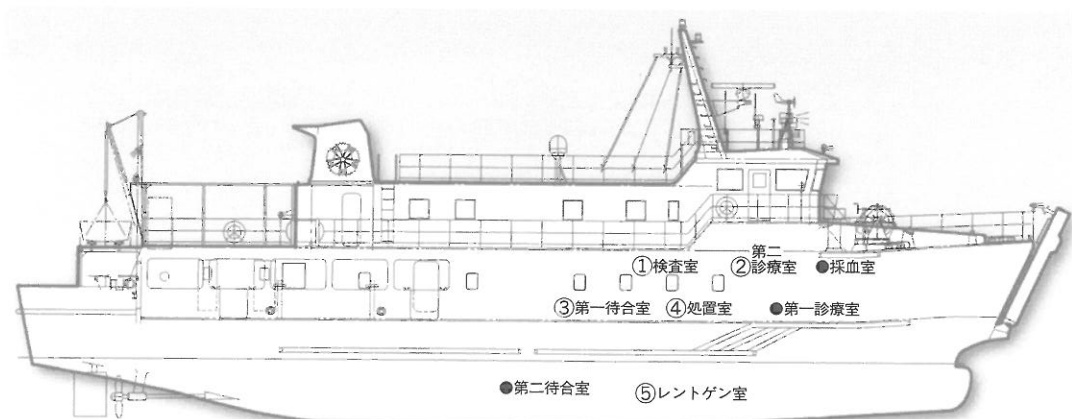
- ア. 一面に果樹園が広がっている。この地域では、むかしの国の呼び名がついた果実の栽培が盛んなようだ。
イ. 瀬戸内工業地域では化学工業が盛んである。この地域には日本有数の石油化学コンビナートがあるようだ。
ウ. 大川が三角州を形成し、そこに市街地が広がっている。市内には世界遺産もみられるようだ。
エ. 年間を通して降水量が少なく、市街地に多くのため池がみられる。この地域では、小麦の栽培も盛んなようだ。

(2) 下線部⑧などの瀬戸内海沿岸では数多くの古墳がつくられ、岡山県には、全国で4番目の大きさの前方後円墳である造山古墳がのこされています。前方後円墳について述べた文として誤っているものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 埼玉県の稲荷山古墳と熊本県の江田船山古墳、両方の前方後円墳から「ワカタケル大王」の名前が刻まれた刀剣が発見されている。
イ. 大規模な前方後円墳には、古墳の表面の盛り土に多くの石が敷き詰められ、さまざまな形の埴輪がたくさん並べられていた。
ウ. 大和朝廷がおかれていた奈良盆地には、日本最大の規模の大仙古墳がのこされており、前方後円墳が濠に囲まれている。
エ. 前方後円墳は3世紀中ごろから6世紀ごろまでにつくられた古墳の代表的な形であるが、北海道には一つものこされていない。

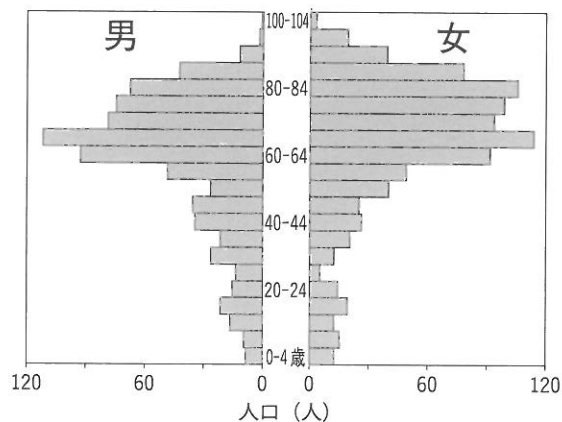
問9. 下線部⑨に関して、なぜ済生丸は現代でも必要とされているのでしょうか。本文と《資料4》・《資料5》・《資料6》・《資料7》を参考にして、その理由を200字以内で答えなさい。そのさい、現在の済生丸の主な役割について説明しながら述べること。

《資料4》 済生丸の設備 ※写真の番号は船内図の場所をあらわします。



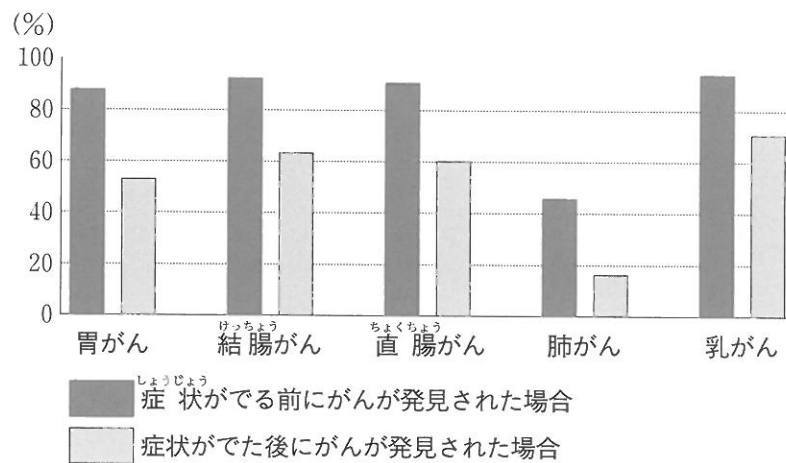
(瀬戸内海巡回診療事業推進事務所パンフレットより一部改変)

《資料5》 済生丸が寄港する島の人口構成の例 (2015年)



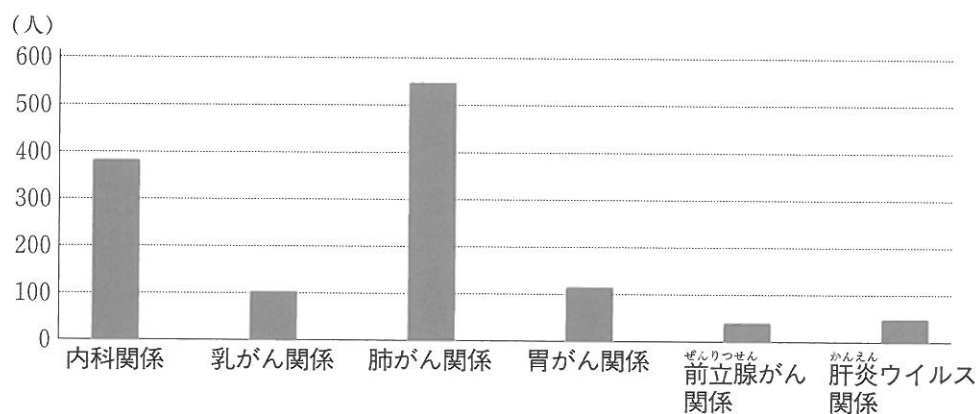
(平成27年国勢調査より作成)
(上記は広島県呉市上蒲刈島のもの)

《資料6》 がんの5年後生存率 (1993~1996年)



(厚生労働省「がん対策推進企業アクション」より一部改変)

《資料7》 香川県内における済生丸の利用の内訳 (2016年度)



(社会福祉法人恩賜財団済生会『平成28年度「済生丸」による瀬戸内海島嶼部巡回診療事業報告』より一部改変)

